

2025.5.1

第173号



〔町制施行70周年記念ロゴマーク〕

○いたくら 議会だより



西小学校入学式（入学児童呼名）

今月の主な内容

- 3月定例会・議案審議 P. 2
- 令和7年度予算審査 P. 6
- 一般質問 P. 11
- 陳情審査・自治功労者表彰・議会日誌 P. 19
- みんなの声・編集委員の声 P. 20

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと
議会ホームページが開けます



令和7年第1回定例会が、3月6日(木)から19日(水)までの14日間の日程で開かれました。今回の定例会では、諮問2件、同意2件、条例の制定議案2件、条例の一部改正議案5件、計画議案1件、令和6年度補正予算議案3件、令和7年度当初予算議案5件、議員発議1件（条例の一部改正議案）の21議案と陳情1件が審議されました。

人事案件、条例の制定及び一部改正議案などを審議

令和6年度補正予算を原案可決 令和7年度予算を原案可決 一般質問に8人の議員が登壇

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について

令和7年6月30日付けで任期満了となる高山弘文さんの後任として、森田孝市さん（大字海老瀬）を適任者として、また、同日付けで任期満了となる峯岸一夫さん（大字下五箇）を引き

◆板倉町教育委員会委員の任命について

令和7年3月31日付けで任期満了となる小菅富子さんの後任として、栗原順子さん（大字岩田）を任命することに同意しました。

◆板倉町監査委員の選任について

令和6年12月7日付けで任期満了となった館野文男さんの後任として、大塚進さん（大字粉谷）を選任することに同意しました。（※館野さんは後任者が決まるまでの間、監査委員職務執行者代理として務めてくださいました。大塚さんの任期は、令和7年4月1日から4年間でです。）

議決議案

◆板倉町手話言語条例の制定について

国連総会において、平成20年に「障害者の権利に関する条約」が採択されたことを受け、国内においては、平成23年以降、「障害者基本法」の改正を始めとする法制度等の整備が行われ、「手話は言語である」として位置付けられました。県内においても、議員提案による「群馬県手話言語条例」が平成27年に施行されて以降、それに続いて、20市町村が手話言語条例を制定し、施行されています。本案は、社会情勢の変化を踏まえ、手話は音声言語と対等な言語であるという認識を町民

に正しく広め、手話が必要とするかたが手話による意思疎通を円滑に行える環境づくりの推進を図り、障がいのある無にかかわらず誰もが健やかに安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指すため、本条例を制定するものです。

◆板倉町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

本案は、令和6年11月29日に「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令」が公布されたこと等に伴い、本条例の一部を改正するものです。主な改正の内容の1つ目は、栄養士法が改正されたことに伴い、家庭的



保育事業所等を利用する乳幼児に対し、当該事業所以外の施設で調理し搬入する方法によって食事の提供を行う場合に栄養士による指導体制等を求める規定において、栄養士免許を有さない管理栄養士であっても同要件を満たすことができるとするものです。2つ目は、保育所等における満3歳以上の児童に対する保育士配置の最低基準が改善されたことに伴い、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所においても同様に改善するように改めるものです。

問 荒井議員

保育士の最低基準を変更するということは、保育士の負担の軽減と保育の質を

答 福祉課長

最低配置基準については、あくまで最低限の人数を示しているもので、保育の質の向上であったり、保育士負担の軽減を図るために、子供の数に応じて、保育士

上げるということで、当町を考えると、保育園の統廃合を進めているが、スケジュール的に令和10年4月開園で、現行の中で進めなくてはいけない。そうすると、大きな問題になっているのは保育士の不足で、それを考えると、最低基準が変更されたということは、今後、現在保育園を運営する中でどういった影響があるか、その辺の見解をお聞かせ願いたい。

が必要な数を定めているものです。板倉の町立保育園2園も、この配置基準が改善されて、より職員の配置人数を増やさなくてはならないという条件を既にクリアしている状況です。その理由は、これまで懸案事項でした保育士の負担の増、こういったものは現実的に直面していますし、さらに子供についても、例えば落ち着かない子であったり、集団行動ができない子、また成長も子供の年齢に比べて大分大きく差が生じます。そういったことも加味しまして、現状でもかなりの加配ではありますが、今後同じ方向性でかじを取っていきたいと考えています。

◆板倉町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について

本案は、群馬県と連携して実施している小口資金融資制度について、売上減少等の要件を満たした場合の借換制度を継続して実施すべく、群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部が改正され、令和7年4月1日に施行されることに伴い、所

要の改正を併せて行うものです。改正内容は、附則に定める借換融資の申込期間を1年延長し、令和8年3月31日までとするものです。

◆第2次板倉町地域福祉計画について

本町では、令和2年度を初年度とする、板倉町地域福祉計画を策定し、「だれもがともに支え合う安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉の推進に努めてきました。この地域福祉計画の計画期間は、5年間と定めています。ここに、現計画の計画期間が終了年次を迎えることから、新たに5年間の第2次地域福祉計画を策定しました。「第2次板倉町地域福祉計画」は、現計画における基本理念を継承しつつ、包括的な支援体制を構築し、更なる「地域共生社会」づくりを推進できるような現計画と同様に「地域福祉活動計画」「成年後見制度利用促進基本計画」を一体的に策定したものです。また、安心して暮

らせる地域づくりとして、犯罪を犯した者の再犯防止を推進するための「再犯防止推進計画」についても新たに包含する形で策定しました。本計画をもって、複合化している福祉の課題や多様化している町民の福祉ニーズに対応できるような施策を実行することで、地域の住民や多様な主体が参画し、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、引き続き地域福祉の推進に努めていきます。

◆その他の議決議案

○刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

○板倉町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○板倉町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○板倉町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

補正予算審査

議案第15号 令和6年度板倉町一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,626万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を68億4,329万4千円とするものです。

問 荒井委員

繰越明許費補正の災害時避難場所確保事業1,100万円について、繰越明許ということは、用地交渉を来年度中には何とかするということなのか。

答 総務課長

これは北部公民館の東側を候補地として交渉を重ねてきましたが、非常に難航して、これ以上交渉については難しいという判断もしています。候補地については別の場所も検討の上、交渉していきたいと考えています。

問 青木文雄委員

歳出の子ども・子育て

300万円程度が確定しましたので、その差額分を減額するものです。

問 須藤委員

歳出のシルバー人材センター運営費補助金50万円の追加について、その理由を伺いたい。

答 健康介護課長

今回の補正につきまして、作業棟のエアコンが壊れてしまったので、追加補正をさせていただいたものです。

問 尾澤委員

歳出の公園等維持管理業務委託料500万円の減額について、この委託料は、この公園を対象にしているのか。また、草刈り等の費用なのか。

答 都市建設課長

基本的には町が直轄で管理している、ふれあい公園、いずみの公園、中央公園、天神池公園の費用としています。また、この費用は、主に高木の剪定、伐採、中低木等の剪定と草刈りも含

支援事業計画策定事業435万4千円の減額について、その理由を伺いたい。

答 福祉課長

本来、業者に委託をするところですが、職員の頑張りによって、自前でつくることができましたので、全額減額するものです。

問 延山委員

歳出の新型コロナウイルスワクチン接種委託料2,460万円の減額について、今年度事業費の確定による減額ということだが、接種率が下がっていると受け止められるがその要因を伺いたい。

答 健康介護課長

減った要因は、皆様が接種に慣れてきたこと、また、



コロナの治療が確立しましたので、接種から治療のほうにと、接種の控えが起ったかと思っています。

問 亀井委員

歳出の一般廃棄物収集運搬事業1,122万4千円の減額について、その理由を伺いたい。

答 住民環境課長

一般廃棄物収集運搬業務委託料及び資源物収集運搬業務委託料の減額になりますが、いずれも業務委託契約額が確定しましたので、当初予算と確定額との差額を減額するものです。

問 藪之本委員

歳出の住宅用太陽光発電システム設置補助事業80万円の減額について、減っているということは、町内では需要が少なくなってきたという認識でよいのか。

答 住民環境課長

近年では、新築家屋に設置する方に対する補助が見受けられます。設置するに当たり、投資というか、そ

めています。



中央公園

問 小林委員

歳出のDX推進アドバイザー派遣事業240万円の減額について、減額の理由とこの事業の内容を伺いたい。

答 企画財政課長

減額については、予算に対して全て減額をする内容です。ただし、6年度に入りまして、DXは今後進んでいく分野ですので、NTT東日本群馬支店さんをお願いをして、無料で全職員向けにDX研修を実施しました。ですから、全く行っていないということではなく、職員全体の研修を行っています。費用がからなかったため、全額減らし

たという内容です。

議案第16号 令和6年度板倉町介護保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,760万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億5,268万8千円とするものです。

問 荒井委員

歳出の地域サロン・通いの場支援事業委託料40万円の減額と地域サロン・通いの場活動補助金50万円の減額について、この地域サロンと通いの場は、今いくつあつて、6年度はもう少し増やすための目標を立てたと思うが、想定した数までいったのか。

答 健康介護課長

サロンあるいは通いの場が各行政区に1つぐらいできていくように進めています。しかし、行政主導ではなく、住民が自主的に進めていくということで、理想の数には及んでいませんが、1つ、2つずつは増えてい

れなりの補助があるとは言いながら、数十万円から数百万円の設置費用がかかりますので、なかなか踏み切れる方がいるのかいないのかとも感じております。町としては、引き続きこの制度を活用していただけるよう周知広報してまいりたいと考えています。



問 市川委員

歳出の町外公立保育施設保育負担金32万4千円の追加について、これは町外に行く子供たちが増えたということなのか。

答 福祉課長

増額理由ですが、当初予算の段階では、1人が12か月通われることを想定していました。実際に今年度の

るのは事実です。



通いの場での健康講座

議案第17号 令和6年度板倉町下水道事業会計補正予算（第1号）

問 青木秀夫委員

説明に分からない用語がたくさんあつて、質問がしにくいところがあるので、もう少し簡単に、表でも作って出してもらえようをお願いしたい。

答 住民環境課長

キャッシュ・フローでありますとか貸借対照表、決算の際には損益計算書というのが出てきまして、言葉で言ってもという部分がありますので、目で見て分かるような工夫をしたものをお配りできるように取り組

実績としますと、4人のお子さんが通われている状況になりましたので、予算の中で泳げていたものが泳げなくなり、この段階で補正をさせていただくものです。

問 青木秀夫委員

歳入のへき地児童生徒援助費等補助金（遠距離通学援助）111万円の減額について、これはどういうものなのか。

答 教育委員会事務局長

これはスクールバスの補助金で、2分の1の補助となつていまして、当初の費用は3,190万円かかるので、国には1,500万円程度を申請していたのですが、全額は認められず、1,



スクールバス（西小学校）

んでいきます。

問 荒井委員

例えば資本的収入及び支出の中で、建設改良費等企業償還金が出てくるが、こういったものは、6年度から10年度くらいまでの年次計画があると思うが、後で見せていただけないか。

答 住民環境課長

それも分かりやすいような形で整理をしてお示しすることによりまして、よりご理解いただけるように、取り組ませていただければと思います。



板倉町水質浄化センター

◆なお補正予算については、3月7日の本会議において、全員一致で原案どおり可決となりました。

令和7年度予算を全会一致で可決

一般会計 65億円

特別会計および公営企業会計 38億4,127万円

令和7年度一般会計、特別会計および公営企業会計予算については、予算決算常任委員会において、4日間をかけて慎重に審査を行い、3月19日の議会最終日、全会一致で可決となりました。予算決算常任委員会における主な質疑内容についてお伝えします。



令和7年度予算

会計区分		本年度	前年度
一般会計		65億円	59億9,500万円
特別会計	後期高齢者医療	2億3,680万円	2億2,769万円
	国民健康保険	18億7,634万円	19億8,262万円
	介護保険	13億9,806万円	13億6,216万円
下水道事業会計		3億3,007万円	3億4,609万円
合 計		103億4,127万円	99億1,356万円

一般会計65億円

支出の主な内容

総務費 11億545万円		① 町制施行70周年記念事業（拡充） ② 移住・定住支援事業（拡充） ③ 防犯対策機器購入費補助事業（拡充） ④ 基幹系システム運用管理事業（拡充）
民生費 20億2,856万円		① 公立保育園・公立児童館建設事業（新規） ② 保育士人材確保事業（新規） ③ 福祉タクシー利用補助事業（既存）
衛生費 6億3,928万円		① 法定予防接種事業（拡充）
商工費 1億776万円		
土木費 5億9,444万円		① 群馬の水郷管理事業（既存） ② イメージキャラクター地域活性化事業（拡充）
消防費 3億3,853万円		① 公園維持管理事業（既存） ② 道路長寿命化事業（既存） ③ 町単独道路整備事業（既存） ④ 橋梁長寿命化事業（既存） ⑤ 都市下水路排水区域内水浸水シミュレーション事業（新規）
教育費 8億7,618万円		① 防災対策事業（拡充）
実事業（新規）		① 校内教育支援センター充

【予算審査】

予算決算常任委員会を4日間開催して、令和7年度予算を集中的に審査しました。

主な重点施策

問 尾澤委員

町制施行70周年記念事業としてのシティブロモーションでは、主にどのようなコンテンツによって町の魅力を発信していくのか。

答 企画調整係長

移住定住、観光、食、ふるさと納税などについて、流出傾向が強い若者にも注目してもらえるよう、比較的年齢の若い著名人を起用して動画を制作し、ウェブ上でのPRを行いたいと考えています。

問 藪之本委員

総務課

問 青木文雄委員

校内教育支援センター充実事業について、中学校の校舎内に設置してどのように教育支援を行うのか。

答 指導主事

登校できても教室に入れない児童生徒に対し、個別の支援計画を立て、教員免許を持つ指導員が学習支援を行います。校舎内に設置することで学校行事等を身近に感じることができ、給食の時間だけでも教室に戻るなど、学級活動と離れ過ぎないセンター運営を目指しています。

答 安全安心係長

新聞である市が企業と災害協定を結んで、備蓄品をリースにして購入しないから、安く上がっている。業者はそれを中古品か何かで売ってしまうから、すぐさばけてしまう。物によってはリースにしてもいいようなものもあると思うが、研究していただけないか。

問 荒井委員



町で購入する備蓄になりますと、保管場所も考えなくてはなりません。災害協定に基づく流通備蓄やリースの備蓄についても検討を進めていければと考えております。

答 安全安心係長

避難者カード作成委託料50万円について、今の段階でどういったカードを考えているのか。

避難者カードは令和3年9月以降お配りしてまいりましたので、世帯の住民情報を更新したものをお配りします。これがあることで、避難所の受付がスムーズになりますし、お配りすることによって、備蓄品を見直す

問 市川委員

防災意識の啓発について、現在防災士は何人いるのか。また、今後どのくらい増やしていくのか。

答 安全安心係長

現在56人が防災士連絡会のほうに所属しています。各行政区に最低1人はいます。今後防災士が地元の自主防災組織、行政区の組織の一員として、避難所の運営等に当たっていただくことも考えていますので、各行政区に複数配置できるように推進していければと考えています。

問 青木秀夫委員

職員の人件費について、現在少子化をはじめ、人口減少が想定外に早まっているが、5年、10年後、確実に板倉町の人口は、減っていくという予測が確実な状況である。そういう中、職員数は5年、10年後、どのような配置計画を考えているのか。

答 秘書人事係長

人口減少等に伴う長期的な計画はありません。職員数の推移は、平成の一桁台に行政改革、あるいは集中改革、プラン等の大きな波がありました。そこでこの自治体も一気に減らしてきたという実態があります。人口に伴う減というよりは、職員を減らして合理化していくという流れで減ってきたものと認識しています。

都市建設課

問 延山委員

現在の町営住宅だが建物の老朽化が進み毎年修繕を重ねているが、今後建て替えや民間の建物を借り利用することも検討していく必要があるのではないのか。

答 都市建設課長

確かに旧建築基準法の建物なので、長寿命化で寿命を延ばそうとしても、限界は来ると思います。そうなる前に建て替えをするのか、借換えをするのか、PFI

事業も取り込むのか、全体的な住民福祉の施策と併せて、今後議論は必要になると思います。

問 亀井委員

道路の新設工事について、毎年電柱の移設が繰り越しになっているが、業者に働きかけはできないか。

答 都市建設課長

毎年急いでほしいと伝えしていますが、なかなか動いてくれません。どこの市町村でも遅いのが現状です。工事を繰り越す影響が出ていますので、今後も積極的に業者とは話し合っていると思っています。

問 青木文雄委員

都市計画審議会委員報酬9万円について、何人分の報酬なのか。また、審議会は、いつ開かれているのか。

答 計画管理係長

この報酬は5人分です。審議会を行った場合、出席された委員に出しています。また、審議会は、都市計画関係で決定する事項がある

です。

住民環境課

問 延山委員

資源化センター管理事業の設備点検委託料32万7千円について、使われていない施設でも、点検をしなくてはならない場所があるのか。

答 環境下水道係長

旧資源化センターは職員が常駐していない施設ですが、施設管理の法律に基づいて検査をしなくてはならないものがあります。例えば受水槽や消防設備については、法に基づき点検が義務づけられています。

問 青木文雄委員

マイナ・アシスト購入費53万4千円とあるが、内容を伺いたい。

答 戸籍年金係長

これは、タブレットのよなものになっていまして、全てタブレット上で申請写真撮影、国への送付ができます。現在の手続きで1

ときに開催するもので、直近ですと、平成29年12月に、役場を建てるため、都市計画の地区計画というものがありませんが、そのエリアを指定したときに審議会を行ったのが最後になります。

問 須藤委員

公園維持管理事業の除草剤等購入費63万円とあるが、町ではどのような場所に除草剤をまいているのか。

答 計画管理係長

道路歩車道境界ブロックの付け根から大きな草が生えてきますので、そういう所には、田植え前の春先にまいています。除草剤は一部では発がん性物質があると言われていているものもありますので、そういったものは使わないようしています。また、公園には、ペットの散歩をされる方がいますので、できるだけ除草剤は使わないようになっています。

問 尾澤委員

道路除草管理委託について、国道354号線の歩道

に人が通れないくらいの草が生えてしまつ所があるが、国道は県が除草するまで待つしかないのか。

答 計画管理係長

国道354号線の歩道は、群馬県の管理になっていきます。県も草が伸びる時期を把握していて、発注しているはずなのですが、最近の猛暑では刈っても2週間もすれば、背丈ぐらいに伸びてしましますので、苦情があった場合は、すぐにつないでいますが、県の対応が遅くなってしまうのが実情です。

企画財政課

問 尾澤委員

シティプロモーションコンテンツ制作委託料2、400万円について、芸能人などの有名人を使えば、ユーチューブの視聴回数が伸びると思う。若い子が見てくれたら、それを貼って自分のページから流すことによって広まることもあるので、考えてもらえないか。

ないのか、このまま見届けるのか、または別の種類の植物に替えていくのかなど

庁内挙げて、協議するような場面を設けていきたいと思っています。

産業振興課

問 青木秀夫委員

フレッシュの隣地で施工している宅地造成について、分譲価格は設定されているのか。販売価格の設定にあたっては、県企業局と交渉しているのか。

答 誘致推進係長

造成工事の工期延長によって事業費が確定しないため、県企業局では分譲価格をまだ決定していません。県企業局が分譲価格を設定する際には、板倉町に見合う価格でないと売れないことを強く要望していきたいと考えています。

問 須藤委員

漁業組合が令和7年度末をもって解散する方向で準備を進めていることを受け、町が水郷公園の管理を引き

答 企画財政課長

自治体でPR動画を作ると、どう頑張っても視聴回数1、000回くらいですが、関係する業者によりますと、有名な芸能人を使うと、10万回以上の再生が期待できるということです。70周年記念事業ですので、板倉町の魅力を外に向けて一生懸命やりたいと思っています。

問 荒井委員

板倉町PR大使事業について、群馬県が移住、住みたい県1位ということと、板倉としても、都心への交通アクセスはかなり有利な部分があるので、板倉の地域資源などを全て含めて、宣伝したらいいのではない

答 企画調整係長

PR大使には、毎年広報紙を主体として情報提供していますので、板倉ニュータウンですが、イベントですとか、そういったものも交えて情報提供は行っていくしたいと思います。併せ

継ぐにあたり、釣堀をどのように管理しているかと考えているか。

答 商工観光係長

これまで、漁業組合が入漁料を徴収し、釣堀の管理を行ってきたわけですが、町に移管される令和8年度以後においても、基本的には何らかの形で利用料をいただくながら管理していく方向になるであろうと考えています。

問 永田委員

農業者等営農継続支援事業について、具体的にはどのような事業なのか。

答 産業振興課長

引き続き3年以上営農を継続する意思がある町内在住のかたに対し、農業機械等を購入する費用の一部を補助する事業です。

福祉課

問 小林委員

戦没者追悼式については、年々、遺族関係の参加者数が減少している。開催日が

て、板倉町の平地ならではのよさ、群馬県は物価が安いとか、災害が少ないとか、そういう面もPRをしたいと考えています。



PR大使の紹介（町ホームページ）

問 藪之本委員

ふるさと納税事業について、今年度現地決済型ふるさと納税を検討していたかと思うが、新年度予算に反映しているのか。

答 財政係長

これについては、現在業者の選考が終わりまして、最初に板倉ゴルフ場からできるように調整をしています。実際始まれば、商工会等を通して、4月以降に登録店舗の募集をかけさせていたでいて、事業者からの説明もさせていただく予定

土・日であれば参加できるという遺族関係者もいるのではないかと思うが、そのような検討はしているのか。

答 福祉課長

参加者数の減少は、高齢化によるものと捉えています。平和教育の一環として、中学2年生に参加してもらうための平日開催であることとを踏まえ、遺族会の意向も伺いながら検討したいと思います。



令和6年度戦没者追悼式

問 永田委員

子ども食堂の実施について、これまでに検討したことはあるのか。

答 福祉課長

コロナ禍中に町外の飲食業者から実施に向けた相談

健康介護課

があったものの、感染対策としての公共施設の使用制限により、実施には至らなかったという経緯があります。子ども食堂を始めたいという声が上がった場合には、積極的にサポートしたいと考えています。

問 小林委員

介護保険の申請から認定までかなりの期間を待たなければならぬが、緊急の場合には期間を短縮することができないだろうか。

答 介護高齢係長

申請を受けてから、認定調査を行い、主治医意見書を取得し、認定審査会に諮って決定するという一連の流れで、全国平均とほぼ同じく、おおむね40日かかっているのが現状です。なお、緊急の場合には、認定前であっても暫定的に介護サービスを利用できるように柔軟に対応しています。

問 須藤委員

がん対策について、集団

問 市川委員

小学校と中学校の給食事業について、アレルギーを持つ子どもにはどのように対応しているのか。

答 総務学校係長

それぞれの家庭でアレルギー反応がない食材を用いた弁当を用意し、持参してもらっています。そのため、給食費無償による他の子どもとの公平性を考慮し、学校給食一人あたりの費用と同額を手弁当に対する補助金として交付しています。

税 務 課

問 延山委員

固定資産税の現年度課税分が増額になっているのは、東洋大学の土地等に対する課税分によるものか。

答 税務課長

東洋大学が学校施設として利用していた土地と建物については、これまで非課税になっていましたが、令和7年1月1日時点におい



旧東洋大学校舎

問 小林委員

3年置きに航空写真を撮影し、課税客体調査を実施しているとのことだが、現地と課税台帳との不整合による課税漏れ等はあるのか。

答 資産税係長

建築確認申請制度が徹底されており、違法建築等による課税漏れ等の事例は確認されておりません。建物が滅失された場合なども含め、適正な課税に努めます。

総 括 質 疑

問 荒井委員

令和7年度の予算編成にあたり、町長が公約に掲げている中でのくらしい具現化できたと考えているか。

答 町長

町をアピールするための情報発信については、特に気持ちを入れたつもりです。公園の整備については、中央公園、ふれあい公園、水郷公園や天神池公園のいずれを中心として整備していくか選定しているところであり、予算に盛り込めていない部分があります。さらに、町の農業を担っている中小規模の農家に対する営農継続支援としての補助金も予算計上しました。まだ足りない部分は多いと思いますが、まずもって着手したいことは具体化できた予算編成であると捉えています。

◆なお、新年度予算については、3月19日の本会議において、全員一致で原案どおり可決となりました。

一 般 質 問

議会 2 日目 3 月 7 日(金)



森田 義昭 議員

小中学校のいじめについて
消防団について

消防団の人数について

問：今現在、消防団の人数は足りているのか。

答：総務課長 令和7年2月1日現在で、本部長3人、団員98人、総数101人に対し、組合条例で定める定員数は103人ということで、2人欠員の状況である。



過去に質問をした小中学校の「いじめ」について、その後は

問：いじめについては、一度ないし、二度質問をしているが、その後、小中学校でいじめがあるのか、ないのかお聞きしたい。

答：教育委員会事務局長 いじめについては、小学校が4件、中学校が1件ある。その内、既に解決しているのが4件、経過観察中が1件である。経過観察中とは、いじめの解決に向けて指導が行われてから3か月間は経過を見るといいうことである。すなわち、指導を終え

ているということだから、現在未解決となっているいじめは無いということである。

問：いじめとは、自分がいじめられていると思っ

たことがいじめだと、前回の質問のときに教育長は答えられたが、そう思った気持ちを表に出せない子供たちがどのように救っているのか。

答：教育長 一番は学校内での環境づくりが必要かと思っている。時には、小学校と中学校で一緒に「いじめ防止フォーラム」などで「SOSをどうやって出していくのか」について話し合いの時間

問：教員免許制度が無くなったが、代わりにな

ったが、代わりにな

ったが、代わりにな

問：町長 起こってから対

処する前に予防が大事だと思っている、その意味で教員が見つけないのが望ましいと思



森田議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 3 月 7 日(金)



青木 文雄 議員

**若者・女性が帰ってきて働ける
まちについて**
避難所に関する取組指針・
ガイドラインの改定について

住 若者・女性誘う移住・定

問：Uターン定住者の確保、具体的な対策をどう考えているか。

答：企画財政課長 現在、移住・定住の推進を図るためにニュータウン内の空き家等を賃貸で貸せるのか、あとは販売ができるかというような内容を検討している。移住・定住について補助金の関係はいろいろあるが、ソフト面の補助事業だけでは、やはり板倉町に戻る若者・女性が少ない。ニュータウン駅前の商業地・業務用地の企業誘致関係とか、産業団

地の創出、それと国道354号の早期4車線化と利根川新橋の早期実現、橋の取付道路の整備等々のハード面も含めてトータル的にやっていかないと厳しいと認識している。今後、持続的な魅力あるまちづくりを目指していく必要がある。

問：PFIを活用した「地域優良賃貸住宅整備事業」を推進する考えは。

答：都市建設課長 PFIを活用した「地域優良賃貸住宅整備事業」は、幾つかある住宅施策の一つの手法として、民間の資金や経営能力、技術等を活用し、公費負担の軽減を図り、中

避難所におけるトイレの確保・管理

問：トイレカーの確保を町はどのように考えているか。

答：総務課長 令和6年12月13日、内閣府は自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインを改定した。大きく4つ示されている。



緊急避難場所（西岡地区）

その真つ先に示されたのが「トイレの確保・管理」という内容になっている。その改定については、能登半島地震、こちうでの災害の対応の現状、また国際基準でスフィア基準というのがあるが、そちらを踏まえての改定になっている。大規模災害、特に地震とかが

発生すると、まず予想されるのが停電、断水、いわゆる生活インフラが壊滅してしまう。それにより、トイレの水も出ない、水洗トイレの役も立たないという状況となるのが想定できる。そこで「トイレの確保、管理」では、トイレカーの導入を検討、研究をしていきたい。

答：町長 昨年12月に発表された指針の部分に関しては、それに沿えるように準備を今後していかなければいけない。避難所が確保すべき生活環境は、これからの準備をしていくということと進めていきたいと考えている。



青木文雄議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 3 月 7 日(金)



藪之本 佳奈子 議員

学校トイレに生理用品を！
板倉町こそ必要な
ラーケーション制度

生理用ナプキンの設置について

問：小学校や中学校、公共施設の女性用トイレに生理用ナプキンの設置をすることは、教育機

会の確保、人権擁護、防災の観点からも必要と考えるが、現在の設置状況はどうか。

答：教育委員会事務局長 設置はない。

問：近隣の小中学校では女性用トイレにナプキンの設置があり、一市五町では板倉町だけ設置していないという状況をどう考えるのか。

答：教育委員会事務局長 学校トイレへの設置について検討を進めてい

答：企画財政課長 今後検討していく。

問：懸念点はあるのか。

答：企画財政課長 普段使いとして持ち帰る可能性はある。

答：教育委員会事務局長 本当に必要な生徒が使えない等で設置をやめようと考えてる市町村もあると聞いている。

問：企業広告やふるさと納税を活用できないか。

答：企画財政課長 直接企業が使途指定して寄付してくれた場合は可能。

問：高齢化やジェンダー多様性の対応に男性用トイレにサニタリーボックスを設置するべきと



サニタリーボックス（役場男子トイレ）

答：企画財政課長 公共施設についても今後検討していく。

土日が休みではない世帯の親子の絆時間について

問：親子の時間を確保し、子供たちが地域への愛着を育み、将来的なUターンや事業承継へとつながる取り組みが必

要と考える。先進地で制度化されているラーケーション制度を導入する検討はできないのか。

答：教育委員会事務局長 家族が共に過ごす時間を確保することは、重要な課題であると認識している。愛知県等の先行事例を参考にしつつ、慎重に検討する必要がある。

問：親子の時間を意識的に確保できる仕組みづくりの一つの方策としてのラーケーション制度を町長はどう考えるか。

答：町長 積極的に検討するものではないと考える。

問：日曜祝日に働く世帯の子どもの預け先として町の取り組みとは。

答：福祉課長 町内での取り組みはない。

問：町内に託児施設がない状況を踏まえ、新設の可能性や民間施設利用への補助制度を検討する考えはあるのか。

答：福祉課長 現在は利用料に対する補助制度を設ける予定はなく、施設の建設の検討も一切していない。ファミリーサポート制度の導入に関しては、事業を実施するよりも、既存の福祉サービスの拡充に目を向けている。社会福祉協議会の思いやり福祉サービス事業の対象範囲を拡大化し、子育て世帯も含めた形で補完していく。



藪之本議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 3 月 7 日(金)



青木 秀夫 議員

東洋大跡地等
町で買取り工業用地に!!
活性化は、積極的財政支出と
投資で!!

まちづくりの投資財源は

問：配布された財政資料によると、町活性化に向けて今後4年間で50億60億円の新規の財政支出は可能であると思う。その財源は、税収増で10億円、歳出カットで10億円、基金（貯金）の取り崩しで20億円、新規町債の発行で10億円と50億円程度金額であるならば簡単に捻出できるのではないかとと思う。そういう財源を活用した「町づくり構想」について伺いたい。

答：町長 答弁なし（議長より通告に載っていないため拒否の旨、説明

がある。）

ニュータウン事業は群馬県に代わって板倉町で

問：板倉ニュータウンについて、「立派な駅、駅周辺が寂れているゴーストタウンのような奇妙なニュータウン」とインターネットの動画で紹介されている。駅周辺の寂しさ、無人の幅広い歩道と指摘されているが、そのとおりであるといえる。30年前、板倉ニュータウンの現状を想像できた人はいない筈である。ニュータウンの現状は一歩前進五歩後退というのが事実であるといえる。ニュータウンの所有者

（地主）は群馬県企業局である。その所有者である肝心の群馬県企業局の販売活動は不活発としか見えない。現状のまま放っておくと、インターネットで指摘されているような奇妙なゴーストタウンに進むことになりかねない。板倉ニュータウンも販売開始以来まもなくで30年になる。群馬県企業局への期待も諦めてよい時期にあるのではないだろうか。板倉町が県企業局から用地を買い取って、県企業局に代わってニュータウンの販売をするということをお小野田町長から県企業局に言うことは

できないか。

答：町長 言つぐらひは言える。



一般質問は執行部への提案・提言!!

意見：議会における一般質問は、議案や議題についての質疑・質問と違って執行部への提案・提言である。また、質問通告について



青木秀夫議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 3 月 7 日(金)



尾澤 将樹 議員

障がい者のこと全般について
伺いたい

板倉町の障がい者の人数について

問：板倉町に障がい程度1級2級の方が何人いるのか。

答：福祉課長 令和7年1月末現在、身体障がい者は1級が、158人、うち障がい児が2人で、2級が、62人である。知的障がい者は、最重度と重度の方を合わせて31人、うち障がい児が、8人という状況である。

障がい児の通学先は

問：小学校、中学校は、どちらへ通学しているのか。

答：福祉課長 身体障害者

相談場所の設置について

問：障がい者本人及び親御さんが困った時の相談場所は、板倉町にあるのか。

答：福祉課長 障がいのある方もしくは、そのご家族が様々なサービスや各種相談をする際には、福祉課で総合的に

受けている。

県立館林特別支援学校の送迎について

問：館林特別支援学校の送迎は、サービス拡充で自宅前まで来てもらえるのか。

答：福祉課長 特別支援学校の送迎は、町内の発着場所として中央公民館の場所を利用してお



県立館林特別支援学校のスクールバス

障がい者雇用について

問：民間会社の障がい者の法定雇用率は、2024年度は2.5%になった。板倉町に成人になった障がい者が働ける会社があるのか。町は把握しているのか。

答：福祉課長 把握していない。障がい者の雇用状況をハローワークに問合せをしたところ、情報の開示はいただけないということであ

る。

問：板倉町は障がい者雇用率を達成しているのか。

答：総務課長 正職員、会計年度職員、合計3人雇用している。令和4年、5年、6年といずれも達成という状況である。

通院交通費に補助制度を

問：慢性特定疾病などの専門の医師が近くにない、関西や九州の方まで通院をする方への補助金制度の支援は、できないのか。

答：福祉課長 補助制度を設けている自治体もある。当町においても、先行する自治体の例等を研究してまいりたいと考えている。



尾澤議員
一般質問

も例えば「財政」についての質問通告であれば、その中に「財政力指数」「交付税」「投資」等の個別事項も含まれているといえるのではないか。

一般質問

議会 5 日目 3 月 10 日(月)



須藤 稔 議員

行政区編成後10年目の検証について ゴミの減量化と資源・ゴミについて 主要幹線道路の新設、整備について

各行政区で年度切り替え時の役員選出状況はどのようなのか

問：各行政区の役員選任状況と2〜3年後の各役員選任状況をどう考えているのか、速やかに選任ができていない地域、選任に苦労している情報が伝わっているのか。

答：総務課長 町の方から各種団体の役員選任を区長さんに依頼をしている。役員のなり手不足の声が上がってきており、今後団体の在り方、内容や役員数の見直しを行う時期に入っていると区長会議でも認識を共有して

いる。本当に必要な役員数はどのくらいかと、現状を認識して臨機応変にその時の状況に応じて見直しをしていかなければと考えている。

資源・ゴミのリサイクルの推進状況と手袋の改善について

問：資源ごみやペットボトルリサイクル回収の状況は。また各地区の環境委員に配布されている手袋改善はいかがか。

答：住民環境課長 最近環境とリサイクル意識が高まり、売り上げイコール量的に古紙、アルミ缶、ペットボトル

の資源回収率は少しずつ増えてきている。町内の利益を目的としていない団体、6年度今日現在で実質17団体ありゴミの減量化にもつながっている。手袋の配布だが、危険物、水に濡れた物を取り扱うので、それらに対応ができるものを取り組んでいきたいと思う。

町長公約の主要幹線道路整備とはどのような経路を考えているのか

問：主要幹線道路は国の補助金が交付されなければ全くできないのが現状であると聞いているが、国の補助金に該当するにはどのようなことが必要なのか。

答：都市建設課長 今現在、群馬県で行っている計画に沿って板倉町は、その計画に参加させて頂いて、国庫補助につながるルートをつくるという考えであるが、今まで主流だったものが、物流関係の交通に関するアクセス道路というのが今まで過去に



一般質問

議会 5 日目 3 月 10 日(月)



荒井 英世 議員

コミュニティスクールの導入を！ 谷田川周辺（国道354号）に 「川の駅」をつくらう！

地域とつながる学校づくりについて

問：学校と家庭・地域の連携と協働が大切であるが、その仕組みとしてコミュニティスクールと現在の学校評議員制度との違いは。

答：教育委員会事務局

長 コミュニティスクールは地域住民や保護者が学校運営に積極的に関与し、重要な事項に対する権限を持つが、学校評議員制度は校長の求めに応じて意見を述べる助言機関で、学校運営の意思決定には関与しない。

問：県内の設置状況は。
答：教育委員会事務局

問：コミュニティスクールのメリットと課題は。

答：教育委員会事務局

長 令和6年5月1日時点で、群馬県が67.2%（全国平均は65.3%）、周辺市町では桐生市が3.8%、太田市が0%、館林市が100%、郡内の5町はいずれも0%である。

問：コミュニティスクールのメリットと課題は。
答：教育委員会事務局

長 地域住民や保護者が学校方針の決定に関与すること、地域に適した特色ある学校づくりを推進できるということである。課題として、学校の教育方針と地域の要望のすり合わせをする場の設置が必要であると考える。

問：県内の設置状況、メ

リットを踏まえて導入する考えはないか。

答：教育長 町では、長らく学校評議員制度を導入し、学校支援センターを中心に事業をしてきた経緯がある。現状もうまくいっていると思う。ただ、県内の導入状況をみると急に導入が進んできているので、学校と地域がウィン・ウィンの関係になることが大事だと思うので、導入に向けて考えていきたい。

交流人口の拡大と賑わいの場「川の駅」整備について

問：官民連携を前提に谷田川周辺に「川の駅」を

つくる考えはないか。

答：町長 国道354号沿い、場所的には道の駅と同じような形になるが、可能なのか、担当とは話をしている。ただ、具体的にどこまでやるかは、今後検討を本当にしていきたいと思っている。

歴史・文化遺産を活用した地域ブランドについて

問：歴史・文化遺産については経済効果を生む可能性はある。例えば、『万葉集』の中に「上毛野の伊奈良の沼の大蘭草よそに見しよは今こそ勝れ」という歌がある。大蘭草だが、古代ではむしろを作った

答：産業振興課長 関係部

署や団体等と意見交換しながら、歴史や文化遺産を観光面で活用できかなど検討していきたい。

そうであるが、これを板倉の特産物として、例えば敷物等として活用できるのではないかと。つまり、経済効果を生むヒントが歴史・文化遺産の中にはあるので、検討する機会をつくる考えはないか。



万葉集に詠まれた歌の歌碑（中央公園）



荒井議員
一般質問



須藤議員
一般質問

一般質問

議会 5 日目 3 月10日(月)



亀井 伝吉 議員

旧北小体育館（緊急避難所）に
エアコンの設置を！
庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンの
導入を！

避難所の空調設備につい

問：東小と西小の体育館にはエアコンの設置が決まったが、旧北小の体育館も避難所になっているので、エアコンの設置はできないだろうか。

答：総務課長 旧北小の体育館は、水害時に重要な避難所の一つである。避難所の環境改善において、空調設備の必要性は十分に認識している。平時は一部のスポーツ少年団が、週一日短時間の利用のため、空調設備設置の検討に至っていない。東小、また西小体育館へ

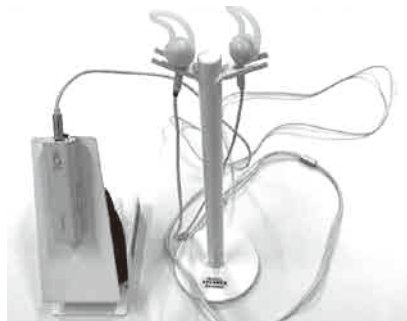
軟骨伝導イヤホンについて

問：庁舎窓口での職員の声が聞こえづらいことがある。小声での聞き間違い、個人情報や相談内容が他人に漏れない様に、軟骨伝導イヤホンを導入する考えはないか。

空調設備の設置が完了したら、両校体育館に配置の移動式冷風機、ジェットヒーター等を、平時は海洋センターへ配置しつつ、非常時は北小体育館へ配置するが、停電時は使用できない課題があるので、非常用電源の確保と併せて検討を進めていきたい。

いか。

答：住民環境課長 コロナ禍以降、庁舎内でのアクリル板設置等で、会話が聞き取りづらく、相手に聞こえるよう大声で対応していた。軟骨伝導イヤホンの使用により、個人情報を知ること、個人情報を聞かれるリスクも軽減される。イヤホンを外耳道内に入れないので衛



役場窓口に設置された骨伝導イヤホン

70周年記念行事について

問：公民館に一度集合し、3人から4人のグループ、または家族で町道のごみを拾い、一時間で戻ってもらう、ごみの種類と重さで点数をつける、スポGOMI大会を開催してみてもいいだろうか。

答：住民環境課長 ごみ問題を学びながら、楽しく、しかもスポーツとして競技化したスポGOMIと、慣例のごみ拾いを融合

婚活イベントについて

問：去年、千代田町で行われたイベントの結果は。

答：企画財政課長 令和4年度から開催している、3回目となる。6年度は、男性50人、女性35人で板倉から男性3人、女性2人の参加であった。参加者が少なくなっている。広域化でいろいろ考えていくべきか、検討しなければならぬ。



亀井議員
一般質問

令和7年第1回定例会
陳情現地調査



3月10日議会5日目、産業建設生活常任委員会に付託された陳情1件について、委員全員による現地調査を行うなど、慎重に審査を行いました。審査結果については、同月19日の議会最終日に亀井伝吉委

員長から報告され、全員一致で採択されました。
◆町道3231号線の拡幅整備について
陳情者 第11行政区長 委員長報告要旨 本路線は、現況幅員が狭く、自動車等の通行に支障をきたしており、緊急車両の進入や消防活動が困難な状況である。総合的に勘案し、本路線の拡幅整備を行うことで、住民の利便性と安心安全の向上が見込まれるため、願意を妥当と認める。

議会動画配信中

お気に入り登録をして議会を見よう



一般質問



本会議

視聴の方法は、板倉町ホームページからご覧いただくか、YouTube（「板倉町議会」と検索）でもご覧いただけます。

群馬県町村議会議長会表彰



令和7年2月14日、群馬県市町村会館において、群馬県町村議会議長会定期総会が開催され、町村議会議員に10年以上在職した議員として群馬県町村議会議長会から小林武雄議員が表彰されました。



議会日誌

2月

- 3日 邑楽郡町村議会議長会 臨時会
- 4日 東部水道企業団議会
- 7日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会 群馬県要望
- 12日 タブレット研修会
- 14日 館林地区消防組合 例月出納検査 財務監査及び行政監査
- 18日 板倉まつり運営委員会
- 19日 館林地区消防組合議会／館林衛生施設組合議会

3月

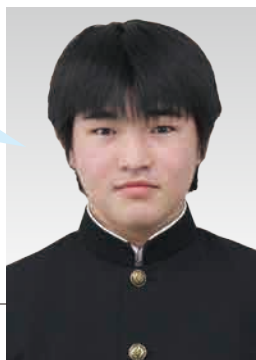
- 6日 定例会（初日）／予算決算常任委員会（補正予算審査）
- 7日 一般質問（5人）／本会議（補正予算議案採決）
- 10日 一般質問（3人）／各常任委員会（所管事務調査）
- 11～12日 予算決算常任委員会（令和7年度予算審査）
- 14・17日 予算決算常任委員会（令和7年度予算審査）
- 19日 定例会（最終日）／全員協議会／議員のみ協議会／議会広報特別委員会／議会・執行部懇談会
- 26日 館林地区消防組合議会／館林衛生施設組合議会
- 27日 邑楽館林医療企業団議会
- 28日 邑楽郡町村議会議長会 定期総会

4月

- 1日 役場辞令交付式
- 6日 板倉消防団辞令交付式
- 11日 議会広報特別委員会
- 18日 館林地区消防組合 例月出納検査
- 22日 議会運営委員会／全員協議会／議員のみ協議会
- 25日 板倉消防団新旧役員歓送迎会

板倉町の 良いところ

あさかわけん じ
浅川兼伍さん
(板倉中学校3年)



私は学校の給食が大好きです。板倉の食材がたくさん使われ、毎日異なるメニューで美味しく調理されている給食は、学校の勉強に疲れた私にとってのオアシスと言っても過言ではありません。そんな私が考える板倉町の良いところの一つと考えているのは、給食費が無料化されているところです。給食費がかかる地域では一人当たり毎年約6万円もの費用がかかっているそうです。この板倉中学校では、栄養士の方が考えてくれたバランスの良いメニューを、調理員の方々が日々心を込めてたくさん作ってくださり、毎日お腹一杯に給食を食べることができています。食材の高騰など様々な諸問題があるとは思いますが、板倉町の給食費無料化を是非今後も続けてほしいと思います。

みんなの 声



しもやまや ちよ
下山弥千代さん
(大字大高嶋)

誇れるふるさと 板倉町に…

青く澄み渡る空。風に揺れる早苗。自然豊かな「板倉町」淡々と綴られる歴史の中「消滅可能性自治体」だという。悠久の時を超え守り継がれてきた伝統や文化、先人の思いさえも瞬く間に消えていく現代。これもまた消滅可能性自治体所以か。私は、この町を愛し「ふれあい公園」の自然を守るボランティアの方々に出会った。町づくりには、欠かせない人たちである。この町を愛する人がいる限り「ふるさと板倉町」は、生き続けると信じている。私たちの誇れる「ふるさと」として。先人の残した伝統を大切に守り育て「新生板倉町」として発展させていくのも町政に携わる者に課せられた使命であり、町づくりという仕事の醍醐味であろう。「板倉町町制施行70周年」「地方自治60周年」の春。この町の続編に期待する。

編集委員の声

町役場を訪ねて、ふとみた窓から見える板倉中学校の桜に心が和みます。今号では新年度予算やさまざまな政策について真摯な議論の様子をお届けしました。町議として日々活動する中で、多くの方々の町への思いに触れる機会があります。登下校の児童に声をかける高齢者、庭に季節の花を植える家族、通りの清掃に汗を流す皆さん―それぞれが「住む町を大切に」する姿に心打たれます。私たち議員も、この思いに応えるべく全力で取り組んでいます。「皆で少しずつでも良いことを」。小さな一歩の積み重ねが、この町の未来を明るく照らすと信じています。これからも皆さんのお声に耳を傾け、住みよい町づくりに邁進します。

(議会広報特別委員 永田 亮記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆6月議会定例会(予定)

- 会 期** 6月10日(火)～6月13日(金)
議 事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)補正予算の審議・採決
(3)一般質問

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)